

鎌倉極楽寺・浜田頓坊 甘辛都逸 何のほのラド -191

《春はやはり「染井吉野」と「甲子園」だな》

◇桜咲く 染井吉野が あちこちポツリ
待ちに待った 幸の花

◇二抱え 50数年 くの手で植えた
吉野桜が 咲く気配

◇やっぱりな 夕陽に照らされ 西側桜
今年も一番 幸の花

□梅も咲き 春は近いと 思っていたら

急に冷え込む 91春

□王さんの 早実相手に 決勝戦で

市商(高知商)応援 団長弟

《仲間から「頓坊」の由緒について?》

□梅も咲き 春は近いと 微笑む最中

急に寒くて 昼の酒

□「物語」 源氏の中には 「300」の心

多彩な哀しみ 新天地

◇女性たち多くの悲しみ 紫式部

表現ゆえ 心の詩

◇その昔 当時師匠の 中道(風運洞)先生に

選んで頂き 「頼坊」と

◇かつて週一 ラジオ都々逸 人気があつて

50年ほど NHK

OK

2